

令和5年度 大阪府立大阪南視覚支援学校

## 学校教育自己診断の結果について

このたび、児童・生徒・学生の皆さんや保護者・保証人の皆様には学校教育自己診断にご協力いただき、ありがとうございました。

本校では、学校教育改善の方策を明らかにするため、学校教育自己診断を行い、頂いたご意見を学校運営や教育活動に活かしてきました。

アンケート結果は「児童・生徒・学生」「保護者・保証人」「教職員」の3つに分けて集計しました。質問ごとに、今年、過去2年間、各学部ごとの結果を数値化、また今年の結果については「肯定」・「否定」・「わからない」の割合を比較しやすいように帯グラフを作成し、本校の学校運営や教育活動が皆様のニーズに対応しているかどうかなどを比較、検討しました。この診断により、現在の課題が明らかになり、今後の学校運営や教育活動を見直すきっかけになると考えています。

また、この結果をふまえ、学校運営協議会委員の方々のご意見もいただき、学校長の「学校経営計画」に反映させ、今後の教育活動をより豊かなものにしていきたいと思えます。

### 1 アンケートの方法

「保護者・保証人用」、「児童・生徒・学生用」（小学部児童用、中学部生徒用、高等部生徒用、専修部学生用）、「教職員用」という質問用紙を、令和5年10月に配付して実施しました。

回収率は、次の表のとおりです。

	提出率(%)	昨年度提出率(%)	一昨年度提出率(%)
児童・生徒・学生	80	73	71
保護者・保証人	87	87	77
教職員	93	94	96

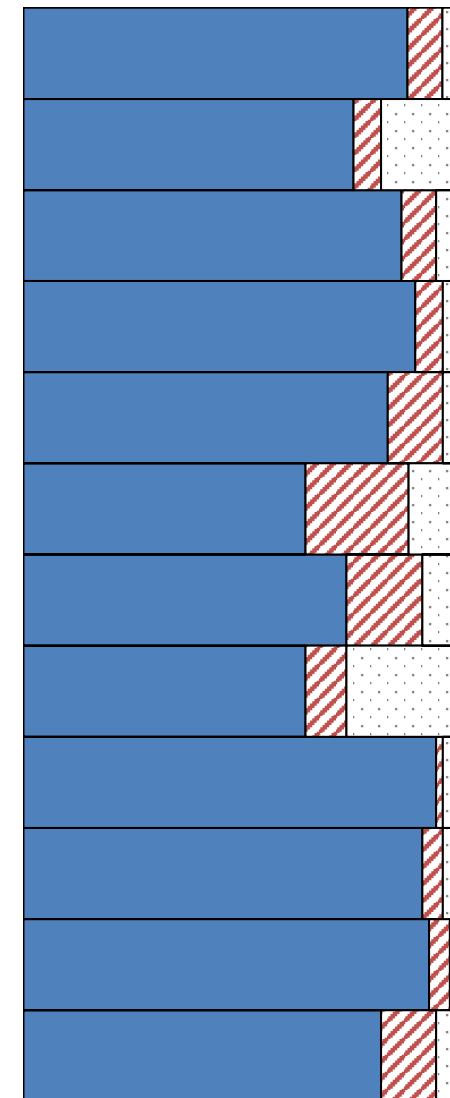
### 2 評価・集計方法

- i) 小学部児童は、質問に対し「はい、いいえ、わからない」の3段階で回答しました。
- ii) その他は、質問に対し「とてもそう思う、すこしそう思う、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない、わからない」の5段階で回答しました。
- iii) 「はい、とてもそう思う、すこしそう思う」を肯定的評価とし、「いいえ、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない」を否定的評価として集計し、グラフで表示しました。

集計結果(児童・生徒・学生)

			R5	R5	R5	R4	R4	R3	R3	幼小	幼小	中	中	高	高	専	専
			肯定	否定	わからない	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定
1	学校全般	学校に行くのがたのしいかどうか	87%	8%	5%	92%	8%	89%	9%	86%	0%	100%	0%	100%	0%	77%	16%
2	進路	一人ひとりに応じた進路学習	75%	6%	19%	71%	8%	75%	7%	29%	0%	75%	8%	100%	0%	75%	9%
3	生徒指導	悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無	86%	8%	6%	80%	8%	77%	16%	57%	0%	75%	17%	100%	0%	91%	9%
4	生徒理解	教職員の幼児・児童・生徒・学生の障がいについての理解	89%	6%	5%	88%	4%	86%	12%	71%	0%	83%	17%	100%	0%	91%	6%
5	授業	わかりやすい授業の実施	83%	13%	5%	87%	6%	91%	9%	71%	0%	92%	0%	100%	0%	75%	25%
6	授業	ICTを活用した教育の取り組み	64%	23%	13%	58%	23%	65%	23%	43%	0%	83%	0%	100%	0%	47%	47%
7	人権教育	幼児、児童、生徒、学生に対する積極的な人権教育の推進	73%	17%	9%	87%	6%	80%	14%	71%	0%	83%	8%	100%	0%	59%	31%
8	人権教育	いじめなどの行為があった場合、適切に対応しているか	64%	9%	27%	69%	6%	63%	12%	57%	0%	83%	0%	85%	8%	50%	16%
9	学校安全	地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか	94%	2%	5%	94%	2%	96%	2%	71%	0%	100%	0%	100%	0%	94%	3%
10	学校生活	通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか	91%	5%	5%	86%	10%	84%	11%	86%	0%	83%	8%	92%	8%	94%	3%
11	学校生活	学校は視覚障がい者にとって安全に整備されているか。	92%	5%	3%	/	/	/	/	100%	0%	100%	0%	92%	0%	88%	9%
12	学校生活	スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか(専)学科の行事が有意義かどうか	81%	13%	6%	87%	6%	74%	18%	86%	0%	100%	0%	100%	0%	66%	25%

肯定的意見
  否定的意見  
 わからない



<児童・生徒・学生の集計結果について>

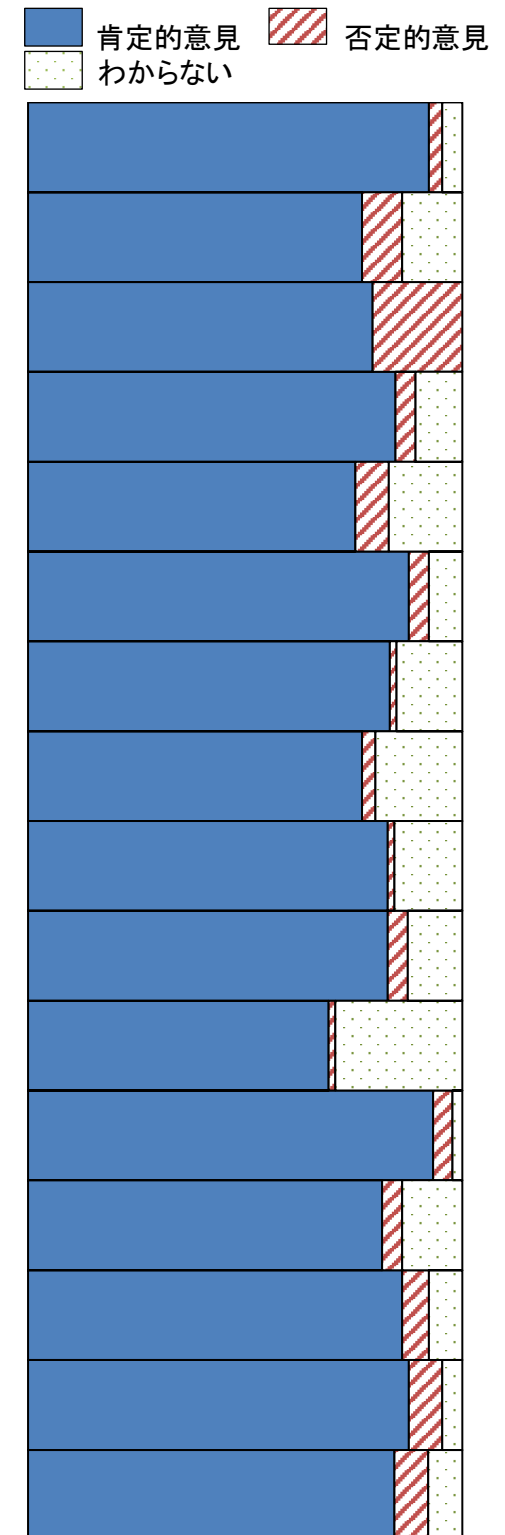
●12項目中、肯定的意見が70%以上は10項目(①～⑤、⑦、⑨～⑫)あり、うち3項目(⑨⑩⑪)が90%以上。新項目⑪を除く11項目中6項目(②③④⑥⑨⑩)で、昨年度より数値が同じか上がっている。  
 ・②『進路』は幼小学部で肯定意見の数値は高くないが、否定意見は0%、『わからない』が多かった。  
 ・⑦『人権教育』では、肯定的意見は73%あるものの昨年度より14%下がっている。特に専修部が低い。これは「学校で命の大切さや社会のルールについて学んだことがある」という中高等部と同じ質問の影響も考えられる。  
 ●肯定的意見が70%を下回るものは、2項目(⑥、⑧)であった。  
 ・⑥『ICTを活用した授業の取り組み』については、学部による差があるが、全体としては昨年度より6%上がっており、特に中学部では30%近く上がっている。一方、専修部では否定的意見が47%あるが、専修部では学科により学生や教職員の見えにくさが多様で、ICTだけでなく教員が要点をまとめた独自資料などの活用も見られる。  
 ・⑧『いじめなどの行為があった場合、適切に対応しているか』は、肯定的意見は64%だが、「わからない」が多い。いじめなどの行為を身近に感じたことがないため『わからない』の回答が多くなったと推測される。

<保護者・保証人の集計結果について>

●16項目中、肯定的意見が70%以上が15項目あり、⑪だけが70%を下回った。  
 ・⑪『いじめなどの行為があった場合、適切に対応しているか』は、昨年度の70%から69%となったが大きな変化はなく、幼小学部と専修部で『わからない』の回答が多いことが数値に影響していると考えられる。  
 ・③『保護者の学校行事の参加』は10%あがっており、新型コロナによる参加制限が解けたことを反映していると考えられる。  
 ・②『学校による情報の周知徹底』は肯定的意見が77%あるものの、昨年度より12%下がり、特に専修部で40%近く下がっている点は、専修部の保証人の回収率の低さや、文化祭などの行事は専修部は任意参加であることなどの影響が考えられる。  
 ・⑧『ICTを活用した教育の取り組み』は肯定77%で昨年度から17%上がっており、数値に差はあるが全学部で昨年度を上回るか100%を維持した。

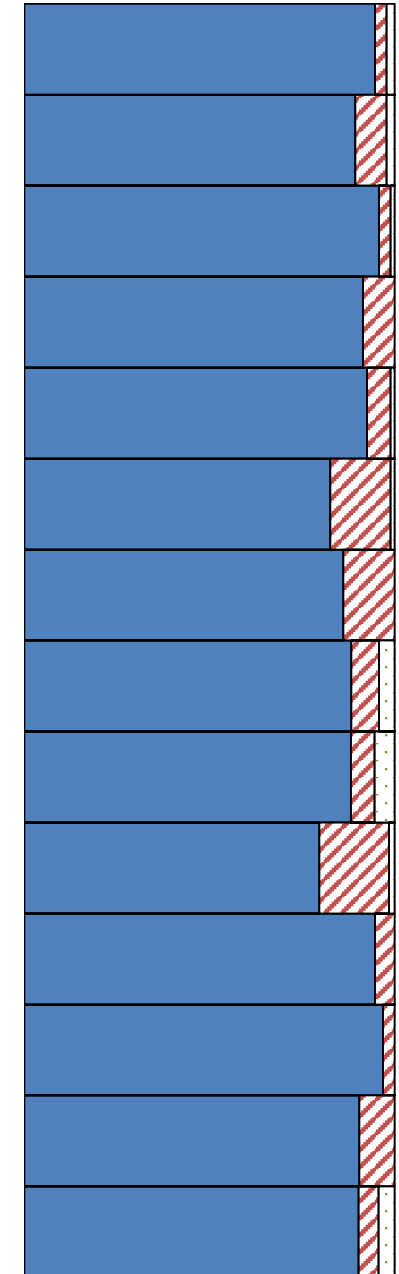
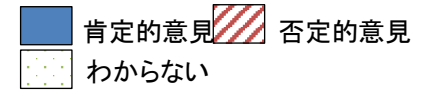
集計結果(保護者・保証人)

			R5 肯定	R5 否定	R5 わからない	R4 肯定	R4 否定	R3 肯定	R3 否定	幼小 肯定	幼小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定
1	学校全般	学校に行くのがたのしいかどうか	92%	3%	5%	95%	2%	90%	8%	93%	0%	100%	0%	100%	0%	80%	10%
2	保護者・保証人との連携	学校による情報の周知徹底	77%	9%	14%	89%	3%	93%	7%	93%	0%	82%	6%	100%	0%	45%	25%
3	保護者・保証人との連携	保護者の学校行事の参加	79%	21%	0%	69%	31%	66%	34%	100%	0%	100%	0%	92%	8%	33%	67%
4	進路	一人ひとりに応じた進路指導	85%	5%	11%	81%	3%	90%	7%	87%	0%	94%	6%	100%	0%	65%	10%
5	生徒指導	悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無	75%	8%	17%	83%	3%	89%	7%	93%	0%	65%	18%	100%	0%	55%	10%
6	生徒理解	教職員の幼児・児童・生徒・学生の障がいについての理解	88%	5%	8%	85%	3%	92%	5%	93%	0%	94%	6%	100%	0%	70%	10%
7	授業	わかりやすい授業の実施	83%	2%	15%	81%	6%	88%	10%	93%	0%	88%	0%	100%	0%	60%	5%
8	授業	ICTを活用した教育の取り組み	77%	3%	20%	60%	10%	77%	10%	73%	0%	82%	0%	100%	0%	60%	10%
9	人権教育	幼児、児童、生徒、学生に対する積極的な人権教育の推進	83%	2%	16%	86%	0%	87%	8%	87%	0%	88%	0%	92%	0%	68%	5%
10	人権教育	日常の教育活動における幼児、児童、生徒、学生の人権の尊重	83%	5%	13%	89%	2%	87%	8%	93%	0%	94%	6%	92%	0%	60%	10%
11	人権教育	いじめなどの行為があった場合、適切に対応しているか	69%	2%	29%	70%	2%	77%	5%	73%	0%	65%	0%	92%	0%	55%	5%
12	教育課程	幼児、児童、生徒の実態に応じた教育課程の編成(専修部以外)	93%	4%	2%	95%	0%	89%	0%	93%	0%	94%	6%	92%	8%	/	/
13	学校安全	地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか	82%	5%	14%	83%	3%	90%	2%	87%	0%	82%	6%	92%	0%	70%	10%
14	学校生活	通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか	86%	6%	8%	79%	5%	87%	8%	87%	7%	82%	12%	100%	0%	80%	5%
15	学校生活	学校は視覚障がい者にとって安全に整備されているか。	88%	8%	5%	/	/	/	/	93%	7%	100%	0%	100%	0%	65%	20%
16	学校生活	スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか(専)学科の行事が有意義かどうか	84%	8%	8%	87%	5%	90%	7%	93%	0%	94%	6%	100%	0%	60%	20%

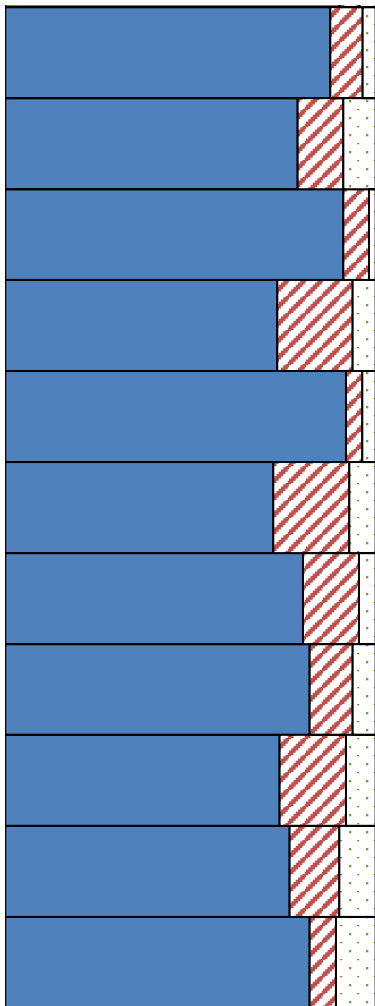


集計結果(教職員)

			R5 肯定	R5 否定	R5 わからない	R4 肯定	R4 否定	R3 肯定	R3 否定	幼小 肯定	幼小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定	行政 肯定	行政 否定	寄宿 肯定	寄宿 否定
1	保護者・保証人との連携	学校による情報の周知徹底	95%	3%	2%	97%	2%	97%	1%	95%	0%	96%	4%	100%	0%	90%	7%	/	/	/	/
2	進路	一人ひとりに応じた進路指導	89%	9%	2%	84%	11%	88%	9%	89%	11%	88%	8%	95%	5%	87%	10%	/	/	/	/
3	生徒指導	悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無	96%	3%	1%	88%	6%	91%	6%	89%	11%	100%	0%	95%	0%	97%	3%	/	/	/	/
4	生徒理解	教職員の幼児・児童・生徒・学生の障がいについての理解	91%	9%	0%	87%	12%	93%	6%	95%	5%	92%	8%	95%	5%	87%	13%	/	/	/	/
5	授業	わかりやすい授業の実施	93%	6%	1%	93%	4%	97%	2%	95%	5%	92%	4%	95%	5%	90%	10%	/	/	/	/
6	授業	ICTを活用した教育の取り組み	83%	16%	1%	77%	19%	81%	16%	79%	21%	83%	17%	95%	5%	75%	21%	/	/	/	/
7	人権教育	幼児、児童、生徒、学生に対する積極的な人権教育の推進	86%	14%	0%	89%	8%	82%	14%	74%	26%	92%	8%	86%	14%	90%	10%	/	/	/	/
8	人権教育	日常の教育活動における幼児、児童、生徒、学生の人権の尊重	88%	7%	4%	91%	6%	86%	11%	95%	5%	88%	13%	90%	0%	83%	10%	/	/	/	/
9	人権教育	いじめなどの行為があった場合、適切に対応しているか	88%	6%	5%	79%	11%	76%	12%	89%	5%	91%	9%	90%	5%	83%	7%	/	/	/	/
10	教育課程	幼児、児童、生徒の実態に応じた教育課程の編成(専以外)	80%	19%	2%	76%	21%	81%	17%	84%	16%	71%	29%	86%	10%	/	/	/	/	/	/
11	学校安全	地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか	95%	5%	0%	91%	8%	93%	6%	100%	0%	96%	4%	90%	10%	93%	7%	/	/	/	/
12	学校生活	通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか	97%	3%	0%	91%	8%	93%	6%	100%	0%	96%	4%	100%	0%	93%	7%	/	/	/	/
13	学校生活	学校は視覚障がい者にとって安全に整備されているか。	90%	10%	0%	/	/	/	/	89%	11%	96%	4%	100%	0%	80%	20%	/	/	/	/
14	学校行事	スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか(専)学科の行事が有意義かどうか	90%	5%	4%	93%	3%	91%	4%	100%	0%	92%	8%	90%	0%	83%	10%	/	/	/	/



15	学校運営	教育活動についての教職員同士の日頃の話し合いや意思の疎通	88%	9%	4%	79%	10%	82%	10%	95%	5%	92%	8%	100%	0%	80%	20%	57%	0%	85%	8%
16	学校運営	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしているか	79%	12%	9%	77%	8%	79%	9%	95%	5%	92%	8%	86%	10%	70%	23%	57%	14%	54%	8%
17	学校運営	個人情報適切に管理しているか	91%	7%	2%	85%	8%	84%	9%	89%	11%	92%	8%	95%	5%	87%	10%	86%	0%	100%	0%
18	学校運営	働き方改革がすすめられているか	73%	20%	6%	63%	29%	59%	30%	74%	26%	88%	13%	65%	30%	73%	23%	71%	14%	62%	8%
19	学校運営	校長は、自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしているか	92%	4%	4%	88%	3%	88%	3%	95%	5%	92%	8%	90%	5%	93%	3%	86%	0%	92%	0%
20	学校運営	各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能しているか	72%	21%	7%	72%	17%	79%	15%	84%	16%	96%	4%	85%	15%	55%	38%	29%	29%	54%	23%
21	学校運営	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができていますか	80%	15%	4%	72%	18%	79%	15%	100%	0%	83%	17%	95%	5%	59%	34%	57%	14%	85%	8%
22	学校運営	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっているか	82%	12%	6%	76%	13%	79%	12%	95%	5%	96%	4%	95%	5%	62%	34%	43%	0%	85%	0%
23	学校運営	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれているか	74%	18%	8%	67%	17%	73%	15%	89%	11%	88%	13%	80%	20%	59%	34%	57%	0%	62%	8%
24	学校運営	教員の間で授業方法等について、検討する機会が設けられているか	77%	13%	10%	66%	12%	75%	6%	84%	16%	79%	21%	85%	15%	83%	14%	57%	0%	46%	0%
25	学校運営	個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成しているか	82%	7%	11%	72%	6%	78%	5%	95%	5%	92%	8%	90%	5%	79%	14%	57%	0%	54%	0%
			R5 肯定	R5 否定	R5 わからない	R4 肯定	R4 否定	R3 肯定	R3 否定	幼小 肯定	幼小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定	行政 肯定	行政 否定	寄宿 肯定	寄宿 否定



＜教職員の集計結果について＞

- ①～⑭までの教育活動に関する項目については、児童生徒学生並びに保護者・保証人の数値と比較する際の正確性を高めるため、行政・寄宿舎の数値は比較外とした。
- 25項目全てにおいて、肯定的意見(以下、肯定)が70%以上で、10項目が90%以上だった。また、昨年度より18項目で肯定数値が上がり、4項目(①⑦⑧⑭)で数値が下がったがいずれも2～3%の減少だった。
- ・③『生徒指導』の肯定は96%で昨年度から8%上昇した。幼児児童生徒学生が悩みを相談できるよう教職員がより一層心掛けていることが反映されているのではないかと考える。
- ・⑨『人権教育』については全学部で肯定的意見が上昇し全体で88%だった。いじめ問題を含め教職員が情報を共有し、適切な対応に取り組む意識が浸透していることが考えられる。
- ・⑫『通学路の整備』について肯定97%と高いが、郵便局付近や学校前の歩道など引き続き安全への配慮や歩行訓練の充実は必要である。

- ・⑩『働き方改革』では、肯定が73%ではあるが昨年より10%上昇した。休憩時間の変更や業務の見直しなどを一定評価していると考えられるが、引き続き、業務改善を進める必要がある。
- ・⑫『各分掌や学部・学年間の連携・機能』は肯定が72%だが、否定が専修部38%、行政29%、寄宿23%だった。分掌・学部間だけでなく、寄宿舎や行政職との連携もしっかり行う必要がある。
- ・⑫『校内研修』は、全体では肯定82%だが、専修部で肯定62%、行政で43%だった。従来の校内研修だけでなく、専修部や行政特有の課題についての研修を検討する必要があると考える。
- ・⑬『初任者等、経験の少ない教職員を育成する体制』では、肯定が74%で小中高等部では80%以上だが、専修部では59%と低いことについては、検討が必要である。
- ・⑭『教員の間で授業方法等について、検討する機会が設けられているか』は、肯定が77%ではあるが、昨年度から11%上昇し、中学部は79%で横ばいではあるが小高専・寄宿・行政のいずれもで肯定が上昇した。

# 令和5年度 学校教育自己診断 自由筆記一覧

学校教育自己診断へのご協力ありがとうございました。お寄せいただいたご意見を項目ごとに、保護者・保証人、児童・生徒・学生、教職員の順でまとめ、学部ごとに内容を記載しています。

頂いた文章の全ては掲載していません。同様の内容があるものはまとめています。個人が特定されるものや一部の学科のみにかかわるものは、校内での共有のみとさせて頂きます。また、頂いた文章の主旨を尊重していますが、内容によっては、省略・修正などをしたところがあります。なお、小学部児童に対しては、「先生にお願いしたいことや言いたいことがあれば書いてください。」として自由筆記の質問をひとつだけにしていきます（回答は1に記載しています）。

## 1. 学校のよいところや今後続けてほしいこと

### ◎保護者・保証人

#### ★幼小学部

- 個を大切に、よりそいながら指導してくれていることに、いつも感謝しています。我が子は「いじめなんてない！学校大好き！！」とあっていて、親からすればこれ以上ないくらい、何よりもうれしい言葉です。スポフェス、文化祭では、我が子はもちろん、どの学部のお子さんものびのびと自分を表現しており、胸があつくなります。自分を受けとめてくれる受け皿があるから、がんばれるしのびのびと表現で

きるんだろうと思います。これからも、個を大切に、よりそった指導をよろしくお願いします。

- 一人一人に合った指導をして下さり、長所をすごく伸ばしてくれる。我が子が毎日楽しみに学校へ行く姿がとても嬉しい。
- 子どもたちのために一生けん命どんな事がいいのか考えてるし工夫してくれてる所がわかります。これからもたのしく通えるようにヨロシクお願いします。
- 出来た事をすごくほめてくれる事。
- 先生方が優しく楽しい。お友達との交流が楽しい。
- 幼稚部にも看護師配置が進み、遠足等も看護師が入ってくれるので親も安心出来る。
- 幼稚部～高等部まで、全ての先生が明るい声であいさつしてくれること。それぞれの個性にあった接し方をしてくれているので子どもものびのびしている。
- クッキングや外出が大好きなので今後も続けてほしい。
- 子ども一人一人の事を大変よく見てくれて、個々に合う授業、生活ペースを提案してくれる。
- マイナスな発言はせず、プラスの発言で子どもや親まで引っぱってくれるので家庭でも心がけるようにしている。
- 子ども一人一人に対して教員が多くついているので安心して通わせる事が出来る。
- 校内がとてもきれいなので、今後もきれいに維持してほしい。

#### ★中学部

- 言葉を話せない子の為にいろいろ工夫をしてくれて助かっている。一人ひとりにあったものを探してくれるので、ありがたい。

- 個別の課題をみつけて、授業にとりいれてくれるところ。
- 行事を幼小中高専でとりくむところ。
- いろいろな生徒がいろいろな場面でみてくれて、教えてくれるところ。
- 全体に少人数なので、子どもの適正をよくみて、よりそってあげている感じで、良いと思う。
- 子どもが楽しく学校生活を送れるように、工夫してくれているところは、親としてもとてもありがたい。そのようにおもしろい先生が担任をしてくれるので学校楽しいと子供が言っていますので、今後も変わらず、そのように対応してもらえたらうれしい。そして行事（イベント）がすごく楽しいと言って、子どもがとても楽しみにしているので、これからも続けてほしい。

#### ★高等部

- 担任の先生方が生徒に対しても親身に対応、配慮してくれて、保護者の話を聞いて共有したり考えたりしてくれて、有難く思っている。
- 先生方がとても子どものことを考えてくれる。注意してくれるときも何が悪かったのかをわかるように教えてくれる。
- 生徒一人一人に寄り添い、その子にあった指導がきちんとされていると思う。今と変わらない校風で続けられたらと思う。
- 学部の人数が少ない分、手厚い支援や一人一人の個性を伸ばしてあげるところがよい。
- 生徒の悩み・困っていることなどを相談できる状況は続けて欲しい。
- 生徒数が少ない分、先生方が一人一人を大切にしてくれている。保護者の相談にも親身になって一緒に考えてくれて感謝している。
- クラスや学年関係なく、先生方が生徒一人一人を見てくれているのがよくわかる。ほめられた事（先生やお友だちに）も話してくれ、自信

に満ちた表情を見ると、こちらも嬉しくなる。少人数でアットホームな環境がすごくあっていて楽しく登校できていると思う。

- 個別性を大切にしてくれている。
- ICT を積極的に取り入れてくれている。

#### ★専修部

- 先生たちが関係がいいみたいなので有難い。

#### ◎児童・生徒・学生

##### ★幼小学部

(ご意見等ありませんでした)

##### ★中学部

- ちゃんと子供のことを見てくれて、あわせて対応してくれていて、お話しもあわせてくれて、おもしろくしてくれる先生がいるところです。それはこれからも続けていってほしいです。それからイベントがとても楽しいです。これからもイベントをたくさんしてほしいです。
- 部活動を続けていってほしい。
- 学校楽しい
- じぶんのとくいをやらせてくれるところ。苦手を一緒にがんばってあげられるところ。

##### ★高等部

- すべての先生がゆっくり話をきいてくれる。優しく接してくれる。
- 寄宿舍がよい
- 先生との距離感が近い

- ・誰も取り残さずに支援をしているところが良い所なので、今後も続けていってほしい。

★専修部  
(ご意見等ありませんでした)

(校長より)

- 保護者・保証人の皆様、そして在籍する生徒の皆様から、学校の良いところをたくさん書いていただき、ありがとうございます。教職員にとりましても、大変、励みになります。
- ・日頃から、幼稚部から専修部まで、少人数のメリットを活かし、一人ひとりのニーズに対応した個別性の高い指導支援を行っていることや、アットホームな学校づくりを進めていることを、ご理解いただき感謝申し上げます。
  - ・今後とも、在籍する幼児児童生徒学生の安心・安全を第一に、保護者・保証人の皆様から信頼される学校であるよう、教職員一同、最善を尽くしてまいりたいと思います。

## 2. 学校教育をよりよいものにするためのご意見・学校教育自己診断票についてお気づきの点

### ◎保護者・保証人

#### ★幼小部

- ・授業のない空時間、教室でスマホを触るのは自由だと思うが、担任なんだから保護者に会ったならしっかり挨拶くらいはしてほしい。
- ・他の支援学校同様、居住地交流は保護者と子どもで参加したい。担任は必要ないと思う。担任が参加するなら担任と子どもでの参加でも良いのではないかな？

- ・学校のセキュリティーはしっかりかためておいて下さい。不審者等多い世の中になっています。例えば門のあけっぱなしなど。

#### ★中学部

- ・特にありません。

#### ★高等部

- ・ライフ（スーパー）の裏の横断歩道に信号機がないのが白杖の方が利用するのに危ないなと気になる。朝、我孫子前（南海）から学校へ行くとき、点字ブロックに生活ゴミを置いてあることがあるのも危ないなと思う。

#### ★専修部

- ・階段が見えにくいところがあるようなので、見やすくなるよう工夫してほしい。
- ・教師への提言や要望がある場合の公の窓口を作っただけだと助かる。

### ◎児童・生徒・学生

#### ★幼小部

(ご意見等ありませんでした)

#### ★中学部

- ・言い方がきつい先生がいるので気をつけてほしい。
- ・プリントのポイント数は個々に合ったポイント数にしたほうが良いと思う。
- ・学部内での交流を増やしたほうが良い。



- ・授業中は1部の人だけにつきっきりにならず、もう少しまんべんなくついたらいいと思う。

#### ★高等部

- ・学部間の距離や壁をもっとなくしてほしい。
- ・本校の卒業生の方の実際の進路などを聞ける機会がほしい。
- ・この学校は色々な生徒が在籍しているのもっと交流をしていくと良いと思う。なぜなら同じ学部でも授業が別だったりするので。これからは今までよりも交流できる場を増やしていくともっと良いと思う。

#### ★専修部

- ・授業中に、授業への要望や意見を伝えて返答をしてもらっていると、授業時間が少なくなってしまう。授業の時間以外でも要望や意見を伝えられるようにしてほしい。例として、目安箱など。
- ・保健医療科と理療科のあんま実技で2学期だけでも合同でやりたい。(人数が減っているため)
- ・保健医療科も2年生のうちから臨床実習を経験した方がいいと思う。(同様の意見あり)
- ・アイパッドは勉強で使いたいときにすぐに使えるように、使う人・使わない人に限らず、配っておくほうがいいと思う。

(校長より)

○本校の教育活動をよりよいものにするための貴重なご意見を多数いただき、ありがとうございます。教職員で共有し、対応できるところは速やかに対応するとともに、検討の必要がある点は検討してまいります。

- ・学校教育自己診断の自由記述に限らず、お気づきの点やご心配な点等ございましたら、学校の玄関ホールに設置してあります箱に、随時投函いただいても結構ですし、年度初めにお知らせしています「校長Dメール」にお送りいただいても結構です。
- ・校内外の安全について、いくつかご意見を頂戴いたしました。通学路の安全(生活ごみの放置を含む)については、毎月一度、担当教員が複数で確認し、危険箇所はその都度、関係部局や店舗等に連絡し、協力をお願いしています。  
また、本校の門の開閉については、昨年度、頂いたご意見を踏まえ幼稚部の登校が終わる10時から小学部の1便下校までの間は原則施錠し、受付員が対応しています。
- ・教職員が保護者さまに挨拶できていないとお叱りや、一部言葉がけがきついのではないかとのご指摘があり、申し訳ありません。日頃から、子どもたちや保護者様への言葉かけなど注意しているところですが、一層気を付けてまいります。
- ・中学部と高等部の生徒から、学部間の交流をもっと増やせないかという提案がありました。本校の少人数の良さを生かすためにも、大きな行事以外に、授業内での交流などできないか、検討したいと思います。
- ・あん摩臨床の時期や時間数についてのご意見も多く頂きました。学科で検討してもらいますが、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家試験に必要なカリキュラムとの兼ね合いがあることをご理解ください。
- ・iPadを各自に配付する件は、学部・学科により状況が異なるようですが、少しでも自宅学習に役立つよう検討してまいります。
- ・居住地校交流への担任付き添いは、全てにおいて行っているわけではありません。参加する児童生徒や相手校の状況などにもよりますので、個別に担任等にご相談ください。